

# エックス線画像を 臨床に活かそう

広島大学大学院 医系科学研究科  
歯科放射線学 教授 柿本 直也 先生



## 講演内容

- ✓ デンタル、パノラマで診断できる病変を理解しよう
- ✓ CBCTの利用について理解しよう
- ✓ 放射線被曝について理解しよう

## 日時

LIVE配信

10/23 (水) 19:00 ▶ 20:30

オンデマンド配信

11月1日 (金) ~ 11月10日 (日)

## 開催方法

オンライン開催 (Zoom)

LIVE配信日の2日前までに、  
ご登録のメールアドレスへ送信します

## 講演の要約

歯科領域の疾患は主として硬組織に生じるものが対象です。特に歯科衛生士の場合、歯周疾患に関する画像診断が主となります。口内法エックス線画像（デンタル）やパノラマエックス線画像（パノラマ）でどのような病変が見えるのか、再度考えてみましょう。現在の臨床では、歯や歯周疾患の画像診断において歯科用CBCTを用いた三次元画像を利用する機会が増えています。どのように描出されるのか、またどのような症例に有効なのかを確認しましょう。これらの画像診断にはエックス線被曝が伴いますが、患者様の治療のために有効なエックス線画像を取得することが重要です。本講演を通じて、皆様の日常臨床においてエックス線画像が有意義なものとなるようお伝えできればと思っております。